



スイス再保険会社は、GE インシュアランス・ソリューションズ社買収のためのエクイティ・ファイナンスを約10億スイス・フラン減額；減額分は内部資金により調達

Contact:

Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171

Corporate Communications, New York
Telephone +1 212 317 5640

Investor Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Reinsurance Company
Mythenquai 50/60
P.O. Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999
www.swissre.com

This is not a prospectus but an advertisement. Investors should not purchase any of the shares referred to in this document except on the basis of information in the prospectus to be issued in due course. Any prospectus published in connection with the offer of shares will be available at the registered office of Swiss Re at Mythenquai 50/60, CH-8022, Zurich, Switzerland.

チューリッヒ、2006年4月21日—スイス再保険会社は、GE インシュアランス・ソリューションズ社買収に要する資金の調達のうち、エクイティ・ファイナンスを47億米ドルから39億米ドルに減額する予定です。当初計画からの8億米ドル（10億スイス・フラン）の減額分は、代わりに内部資金で充当することにしています。また、監督当局による承認手続きは、2006年半ばの取引クロージングの予定に向けて順調に進捗しています。

金融サービス部門の最高責任者であるジョン・フィッツパトリック氏は、スイス再保険会社の支援を受けて新しい投資ファンドを設立するために同社を退社することになりました。

スイス再保険会社のグローバル・ダイアログ・センターは、諮問委員会を創設することに致しました。その目的は、新たに生起するトレンドを探り、リスク環境の展開に対する戦略性のある識見をスイス再保険会社に提供することにあります。

GE インシュアランス・ソリューションズ社買収のために必要な予想総額は、クロージング調整後で76億米ドルと変更はありません。スイス再保険会社には極めて強力な資本基盤と営業キャッシュフローがありますので、本件取引のための内部資金調達を約8億米ドルから9億米ドルに引き上げ、予定していた増資については同額を減額することにしました。以前に発表していた通り、外部からの資金調達総額は、株式とハイブリッド債券部分の両方からとなる予定です。スイス再保険会社では、2005年12月に強制転換社債によって10億スイス・フランをすでに調達しています。

スイス再保険会社とゼネラル・エレクトリック社（GE）では、購入価額のうちスイス再保険会社の株式で支払う部分を24億米ドルに減額することに合意いたしました。それに加えて、5億米ドルの強制転換社債がGE に対して発行される予定であり、その結果 GE によるスイス再保険会社の所有権合計は10%を下回ると見込まれます。

さらに、スイス再保険会社は市場の既存株主に対して10億米ドル相当の株主割当発行を実施する予定であり、新株は既存株主にディスカウントなしで発行されます。スイス再保険は新株の発行を1対17で行なう

予定です(すなわち、既存の17株ごとに新株を1株)。失権株は、グローバル・オファリングにより売却いたします。

20億米ドル相当で計画しているハイブリッド債券もまた、2006年第2四半期に売り出される予定です。

スイス再保険会社の株式およびハイブリッド債券の発行目論見書には、GE インシュアランス・ソリューションズ社のこれまでの財務情報とともに買収提案を実行した場合の予想財務情報が含まれます。すべての投資家に等しく情報を入手していただくことを担保するため、スイス再保険会社はウェブサイト上に同様の情報を記載いたします。

GE インシュアランス・ソリューションズ社との実際の営業統合は、取引のクロージング後に初めて開始可能ですし、現在審理中の監督当局による承認と通常の契約上のクロージング条件に従うこととなります。しかし、統合計画は進められており、スイス再保険会社では年間のコスト節減目標が2008年までに3億米ドル以上になると確認しています。これは主として、ミュンヘン、ロンドン、ニューヨーク、カンザス・シティ、チューリッヒなど大規模な事務所所在地における組織合理化によって生じるものであります。

金融サービス部門責任者ジョン・フィッツパトリック氏がスイス再保険会社を退任します。

スイス再保険会社において8年間優れた業績を残した後、ジョン・フィッツパトリック氏はスイス再保険会社の取締役会および最高経営責任者ジャック・エイグレイン氏に対して、新しい投資ファンド設立のため退任したい旨申し出でました。同氏はフィナンシャル・サービス部門の最高責任者兼エグゼクティブ・コミティ・メンバーという現在のポジションを辞任することになります。

同氏はスイス再保険会社を去るまでの間、保険、証券化、フィナンシャル・サービスなどのセクターにおける投資ファンドの設立に専念します。スイス再保険会社は、同ファンドの大口出資者となる計画です。

ジョン・フィッツパトリック氏は1998年の半ばに最高財務責任者としてスイス再保険会社に入社しました。2003年に同氏は、生命および健康保険の最高責任者の後任となりました。同氏はその業務の一端として、生命保険リスクの証券化分野の展開を監督していました。2005年には、同氏はフィナンシャル・サービス部門の最高責任者となり、保険リスクの証券化をさらに発展させる戦略を担当いたしました。2005年1月以降、スイス再保険会社は自社の貸借対照表から19億スイス・フランの保険リンク証券を発行しています。

フィナンシャル・サービス部門最高責任者の後継者が任命されるまで、ジャック・エイグレイン氏が暫定措置としてフィナンシャル・サービス部門の責任者を務めます。

スイス再保険会社のグローバル・ダイアログ・センターが諮問委員会を設立しました。

同センターは、生起する諸リスクおよび保険業界が直面する主要課題に関して利害関係者が対話をするために重要なプラットフォームとして設立されました。このたび同センターの先見性を備えた役割をさらに強化するために、スイス再保険会社は諮問委員会を創設することに致しました。諮問委員会の主要な機能は、新たに生起するトレンドを探り、経済・政治・規制・社会的環境に対する戦略性のある識見をスイス再保険会社に提供することにあります。

諮問委員会の著名なメンバーは以下の通りです。

- ・ジェフリー・L・ベル、ジェフリー・ベル & カンパニー社長（ニューヨーク）、G30のエクゼクティブ・セクレタリー
- ・ビル・エモット、エコノミスト誌前編集長（ロンドン）
- ・ハイム・ハリ、ワイツマン・インスティテュート・オブ・サイエンス教授、前学長（レホボト）
- ・ウォルフガング・シューラー、MS マネージメント・サービスズ会長兼最高経営責任者（ザンクトガレン）、ジョージタウン大学教授（ワシントンDC）、ザンクトガレン大学教授
- ・ユルリーク・ズーター、スイス連邦工科大学教授、同大学研究所前副理事長（チューリッヒ）
- ・トニー・タン・ケン・ヤム、シンガポール前副首相、シンガポール政府インベストメント・コーポレーション・プライベート・リミテッド副会長兼エクゼクティブ・ディレクター
- ・ポール・A・ボルカー、米国連邦準備制度理事会元議長、G30 評議委員会議長

上記外部メンバーに加えてジャック・エイグレインおよびウォルター・キールホルツが参加し、委員会の議長はピーター・フォルストモーザーが務めます。

付表

外部資金調達額の構成

(2006年4月18日現在、1米ドル=1.2689スイス・フラン)

手法	100万米ドル	100万 スイス・フラン
I 強制転換社債(2005年12月8日発行)	788	1 000
II 株主割当発行	1 000	1 269
III GEに譲渡する株式	2 400	3 045
IV GEに発行する強制転換社債	500	634
V ハイブリッド債券	2 000	2 538
合計	6 688	8 487

編集者への注釈

スイス再保険会社について

スイス再保険会社(略称「スイス・リー」)は、世界有数の再保険会社であり、生命・医療再保険では世界最大。当社は世界30カ国以上で70を超える拠点を展開している。1863年にスイスのチューリッヒで創業されて以来、スイス・リーは再保険事業に従事してきた。スイス再保険会社は、資本とリスクを管理するための多種多様な商品を提案している。広範囲にわたる損害保険ならびに生命・医療保険と関連サービスなどの伝統的な再保険商品に加え、包括的なリスク管理のために保険をベースにしたコーポレート・ファイナンス・ソリューションとその補完的なサービスも提供。スイス・リーの現在の格付けは以下の通り。(1)スタンダード&プアーズから「AA(クレジット・ウォッチ・ネガティブ)」の長期カウンターパーティー格付け、保険財務力格付け及び長期発行体格付けと、「A-1+」の短期カウンターパーティー格付け、(2)ムーディーズから「Aa2(格下げ方向で見直し中)」の保険財務格付け及び長期債務格付けと、「P-1」の短期格付け、(3)A.M. Bestから「A+(格下げ方向で見直し中)」の財務力格付け。